

# 文化行政 意識調査アンケート 結果報告書

2006年3月2日

横須賀市議会議員 吉田雄人

## 調査の目的

この調査は、市民の自律的な文化活動を行政がどのようにサポートすることができるかを、具体的に把握することを目的として、アンケートによる調査を行った。データの蓄積よりも、具体的な要望や意見を集約することに主眼を置いた。

## 調査設計

- ・調査対象： 市内の文化・社会教育活動団体、ほか
- ・調査方法： 市民活動サポートセンターに登録している団体のうち、「文化」、「社会教育」の分野に分類されている団体80団体に郵送およびメールにて依頼した。また、私の議員活動ホームページからも、回答を募った。
- ・調査期間： 2006年2月14日～2006年2月24日
- ・回答総数： 34通(内訳:メール22通、FAX10通、郵送2通)

## 質問項目と回答内容(次ページ以降)

注:内容によっては、質問と直接関係無いものもあったが、原文を尊重し掲載した。しかし、質問9の「その他、ご意見」については、議員個人に対する意見が多数含まれていたため、掲載は行わなかった。

## 質問1: 皆さんにとって「文化」とは一言でいうと何ですか？

- ・我々が大好きな音楽(吹奏楽)を通じて、演奏会等に足を運んでいただける方々の(当然演奏する自分達も含まれます)「心を豊かにするもの」だと思います。
- ・伝統の継承、人とのふれあい
- ・歴史に培われた無形のパワー。
- ・この地に生まれてよかった、と思える全てのもの。
- ・人生や生活に対し人間の創造したもので、より役に立つもの
- ・日々の暮らしの中で欠かせないもの
- ・人はパンのみにして生きるに有らず！文化とは、心豊かに生きるためのもので、自分の心の問題です。
- ・ヒトの(市民の)精神(こころ)の向上(豊かならしめること)に資するもの
- ・その地域や、団体など多数の人間の風土、伝統、価値観など
- ・人間が作り上げた成果
- ・昔からある文化も重視すべきですが、現代の状況に合わせてかえていくのも大切だと考えております。
- ・人間の精神の働きによって創りだされたもの。このアンケートの4番目は広義にはほとんど文化です。
- ・芸術・学問・宗教・生活様式……一言では難しいですね。
- ・営利を目的としない、人間の全ての営み。
- ・人間の品位・活力を維持していくための手段
- ・古代から現代までの人々の生き方や生き様を伝えるものであり、現代の生き方生き様を加えて次の世代へ伝えていくメッセージ。
- ・伝統と文化
- ・こころに与える栄養
- ・生活そのもの
- ・心のやすらぎを得るもの。
- ・人間がその歴史、環境において育んだもの全て。従って、人間の人間たる所以となるもの。(一般に「文化」と言うと「芸術文化」あるいは「High Culture」に限定されるように感じますが、衣食住に始まり政治・経済・宗教・倫理、全てを包括するものと考えます。)
- ・社会全体と個人がより安らかで心豊かなものでありたいという意識とその所産。
- ・生活全般をさす。人間が生きていくための活動。
- ・皆が楽しめる事や昔からうけつがれている伝統的なものや新しく生まれた芸術など、言葉にはうまく表しにくいですね。
- ・一言で言えると思っているのが、質問者の文化度・知性の低い証だ。
- ・知的好奇心を満たし、毎日を心豊かなビューティフルライフたらしめるもの。
- ・日本人の心、伝統
- ・人間の共通の価値感を反映したもの
- ・文明への過渡期。風俗 文化 文明 秀れた文化は常に未来や世界に開かれていると思います。
- ・人間や自然の活動の集積
- ・文化(カルチャー)とは、本来「耕やす」という意味で自分のもっている知識をきたえ、耕やして、その結果として作られ表れてくるものですが、その作られ表れてきたものを確かに受け止め、評価する能力を備えている人がなければなりません。この両者があって生まれるもの。それが本当の文化です。
- ・節度ある自由と認識、知識、理解。これ等のすべてが文化だと思います。
- ・広義では、人間のいとなみ全てですが、狭義で言えば「楽しみ」ですかね。私の場合は主に音楽活動ですが

## 質問2:文化振興条例という条例が横須賀市にあるのをご存知でしたか？

文化振興条例の認知度	
知っている	35% (12件)
知らない	65% (22件)
無回答	なし

## 質問3:「文化振興」という市の施策で、みなさんが望むことを率直にご記入ください。

- ・横須賀市が主催となった、合同の文化発表会があればと思います。吹奏楽の演奏会はほとんどが自主的な開催が多いため、練習以外の準備期間・団体活動資金を考えますと、発表回数は年に数回程度です。「文化振興」として発表の場を提供していただけたらと思います。これは、音楽に限らず、演劇にも言えることではないでしょうか？
- ・伝統の継承、人とのふれあいがより身近になるような交流の場と学習の場の提供と何よりも人材育成。
- ・1.紙に書いた餅でなく実行力のある施策を望む。それには準備が必要である事は承知。2.横須賀市のどの地域でも同じように楽しめる事。3.経済団体のバックアップから切り離すこと。
- ・振興の意義を明確にして、市民に対し広く周知してから施策を行うべき。
- ・もっと身近な文化の掘り起こし
- ・日本の伝統的な文化に触れる機会の提供。さまざまな分野のアーティストの卵を育てる場や機会の提供。
- ・バリアフリーの促進。誰でも安心して住める生活できて、初めて文化都市と言えるのではないのでしょうか？
- ・文化や文明は、その社会の生産力に余剰があるときはじめて生まれるものです(Jared Diamond)。そういった意味で、国力ならぬ市民の生産力に見合ったもので、地域市民のレベルに応じたところの、分相応なものをお願いしたい。「大東亜共栄圏の確立とか東亜の安定勢力とかの理想にとらはれて国力を使はることは誠に危険であります」(若槻禮次郎)。
- ・横須賀は以外に史跡が多い町だと思います。すべて幕末以降ですが、ペリー来航などの維新関連史跡、海軍関係史跡や現施設など近代日本の歴史で重要な部分です。このあたりをPRする必要があると思います
- ・財政が厳しい中で、お金をかけずにしてほしい。新旧の調和が取れた街作りをお願いしたい。
- ・一部の市民が知っていたり、その利益をうけたりするのではなく、市民全員が知り、それが必要どうかを考えられる市になればと思います。
- ・市民が身边はもちろん、精神的に安心して心豊かに住める施策。私は、「福祉文化学会」や横須賀の「市民が活かす図書館の会」の会員でもあります。文化の福祉化、福祉の文化化を進めたい者としてユニバーサルデザインの新図書館の早期建設を求めたいです。また、下の項目は、順位をつけられないです。
- ・芸術教育や現在残っている文化遺産の保護など。もっと横須賀の特徴を生かした方法で何かできないでしょうか。(カレーの街は結構成功していると思うので)
- ・子供達に文化の薫る教育を提供してほしい。
- ・知らない間に、身近に文化があった！というのが理想です。鎮座ましましている文化を、意を決して触れに行くというより、日常生活の中に何気なく溶け込んでいて、気がついたら活力に なっていたという触れ方をしたいです。
- ・文化に関心を持ち大切に作る心はその国の人々の知的レベルを表していると思います。いにしえから伝わるものを理解し大切に次の世代に伝えていく心を育てる教育がすべての基本になると思います。
- ・市民の目・立場を尊重してほしい。行政サイドで物事を進めすぎないように思います。(私達がボンヤリしているうちに、気がついた時には、骨組みが出来上がっている...多くのモニュメント・美術館等)

- ・ 1. 低料金で質のよいコンサートが提供されること（よこすか芸術劇場をもっと身近なものにして下さい）
- ・ 2. 文化会館の有効利用：私が知らないだけかもしれませんが、児童画展やピアノ発表会だけではもったいないです。中央駅から徒歩で行けるといふ地の利が活かされていないのでは？若いひとが足を運びたくなるようなイベントにもっと提供できないものではないでしょうか？現役美大生の学校を超えた作品展とか、デザイナーの卵や音大生の定期的な発表の場として低料金で提供し、高齢者を無料招待するなど。博物館上の公園からの見晴らしもすばらしいのですから、お洒落なティールームでも直営して観光スポットかつ地元の憩いの場にならないものではないでしょうか。（個人的にあの周辺が好きなため）
- ・ 活動の場の提供
- ・ 企画段階から、もっと市民からの意見を吸い上げるようにしてほしい。サラリーマンで朝早く家を出て、夜遅く帰ってくる者にとっては何が行われているのか、よくわかりません。
- ・ 「新中央図書館」の計画を後退させないこと。今の図書館のサービスを早急に全市にゆきわたらせること。公民館、自治活動センターの図書室を図書館のレベルに。学校図書館の充実。
- ・ 40万都市にふさわしい施設がほしい。小動物園とか小水族館とか、大きなスポーツセンター。
- ・ 大人も子どもも楽しめる場、又は、これからも受け継いでもらいたい伝統や芸能・芸術を広めていくにはどうしたらいいかを考えていただきたい。
- ・ Nothing !
- ・ 近代化産業遺産の保存活用、たとえば自衛隊田戸台官舎への国からの移管/市民への開放(含利用)。
- ・ たくさんの人が協力し合い、心の豊かさを深めていく中で、施設が少ないので利用していない(米が浜の保健所)や学校の午後を利用できるように。
- ・ 形に残らないものへの(芸術)支援が少ない
- ・ 既存のものだけに目を向けるのではなく、新しく生まれてくるものにも応援してほしい。
- ・ ヨコスカに美術館はいらない
- ・ 文化活動をしている団体が主体的に活動できるよう市が援助する。活動できる場を無料で提供する。市庁舎の開放。
- ・ 学習塾や各種イベント、美術館の建設などではなく、成人も含めて教養を身につけるかつての松下村塾、適塾などのような私塾を造り、すぐれた個人にじかに接して話を聞く場を市の予算で作るべきです。
- ・ やたらに建築・建設したり(美術館や長井のなんとか言う丘など)することが、「振興」だと勘違いしないほしい。勤労福祉会館など、手を入れて使用できるようにすべきだ。
- ・ 音楽の練習(スタジオ)ができるところが少なく、カラオケボックスに入ってギターやサックスの練習をしている人もいます。大音量で練習できる場所、50人前後が入って練習できる場所、安く借りられる場所を作してほしい。あと発表するチャンスも。

#### 質問4：横須賀市の税金を使うのに、「文化」というのは、次の分野のうち、何番目ですか？

(借金の返済：議会：港湾：産業：防災：環境：土木：教育：文化：医療：福祉の11分野)

平均： 6.38番目

無回答、その他： 5

#### 質問5：横須賀市の「重要文化財」や「文化遺産」をご存知ですか？

文化財、文化遺産の認知度	
知っている	53% (18件)
知らない	47% (16件)
無回答	なし

## 質問6:横須賀市の有形・無形の文化財をどのように活用するのがいいと思いますか？

- ・ 申し訳ありません。文化財はどのようなものがあるのか分からないので、文化財の活用方法はわかりません。すみません。
- ・ 市民に期限つきで開放すること、観光の目玉にするのもひとつかな…
- ・ 1.文化財自体の見直しが必要。住民参加が基本だが必要以上の住民制限は好ましくない。  
2.私的財産の文化財の扱いは早急に対策すべき。
- ・ 最低限の費用で保管、必要ときに鑑賞可能なようにしておけばよい。常に展示するには財政的余裕がないのではないか？市内の教育問題、福祉問題に比べると優先順位は低い。
- ・ もっと市民に広報し、認識を高める
- ・ 文化財マップなどを作って、できるだけ積極的に市民に広報・公開する。観る機会が増えれば、歌やおどりなどの保存に新たに参加したいという方が現れるかもしれないし、そうしたことがきっかけとなって、また新しい文化が生まれるかもしれないので。
- ・ 一部の特権的な人のみでなく、広く市民が誰でも利用出来るようにする。
- ・ 文化財の活用は、「傾斜生産方式」でお願いしたい。すなわち、市民の底辺のレベルに応じたもので、基盤(インフラ)となるものに投資すること。一握りのヒトの興味に供すべきではない。たとえば、芸術劇場や美術館よりも、既存のハコモノ、市民の(絵画)サークル活動の発表の場を設けるとか(そういった場がますます狭くなっている)
- ・ 駐車場や展示施設を整備し観光地としての魅力を高める
- ・ 横須賀市の良さをPRし、観光に役立てる。
- ・ 昔からの文化財は大切に保存・継承し、広報や新聞・神奈川テレビなどで市民に知らせ、興味をもってもらうことが大切だと考えます。
- ・ できるだけ市民が、共有できるように。
- ・ 旧海軍の史跡はベースの中にたくさんあるのをつい先日知りました。市外の友人を案内できる文化財の所在をまったく知りません。いつも三笠公園のみ。まずは文化財の存在をPRするなりして浸透させて欲しい。市役所のHPで調べてみてやっとわかったような状況です。
- ・ 教育現場にもっと積極的に使う。
- ・ 有形は出し惜しみ、無形はどんどん放出する。
- ・ 小学生の教育の場に文化の伝承の機会を多く作っていただきたいと思います。小学生はインターネットで横須賀の有形無形の文化財を知識として知っていますが実際に見る機会が少ない。博物館等の見学もクラス単位でなく小グループ単位で質疑応答を交えて楽しく教えて欲しいと思います。(モスクワで小学生が授業で博物館を見学する様子を見て) そのためにはきちんと説明できる指導員を増やすことも必要です。また一つの例になりますが「どんど焼き」などについても知識として詳しく知っていますが、実際に「どんど焼き」を見たことのある小学生は少なく「どんど焼き」の傍で説明を聞けばもっとよく理解できると思います。できるだけ実際に見たり聞いたり触れたりできる機会を多く作ることができないでしょうか。
- ・ 市民に分かり易く公開・展示・演技の場を持ち、方法をPRする。学校教育に組み入れる。鑑賞・体験によって横須賀の文化にふれ、横須賀の良さに誇りをもたせる。転入者にも伝える努力をする。
- ・ 私はほんの数箇所しか知らないのです。小中学生向けに、はとバスを真似たよこすか文化ツアー版かもめバスでも走らせて、土曜日休みとなって低下し始めた公立学校の教育レベルをせめて社会科だけでも防いで
- ・ プロモーションによる交流人口の増加

- ・もっと広く広報して、たとえば、1冊の冊子にして各家庭に配る。それから、市民がいつでも気軽に見たり、体験できるようにする。
- ・歴史的風雪に耐えた、又は歴史的意義の認められた文化財は、市の広報戦略の一環として、有効に活用すべきと考えます。但し、行政として、その文化財に対する歴史的評価・現代的意義についての見識を十分に有していることが要件となるかと思えます。そうすれば、自ずから、当該文化財に対する行政としての「遇し方」は決定されるかと思えます。
- ・確実な資料を作成し、その価値を広く伝える。
- ・もっと市がバックアップして活用するとよい。
- ・市民に広くわかってもらえるように、マップや冊子を作ってもらえるとありがたいです。
- ・余計なことはするな。特に議員の視察旅行はやめろ。
- ・有形：公開鑑賞、ものによっては活用・保存。無形：公開鑑賞、伝承保存。
- ・私自身もあまり積極的に知ろうともしていなかったが、文化財についてはもうすこし考えを深めて知る努力をします。
- ・後生にも残すように活用する。
- ・どのような文化財があるのかよくわからないので、答えられません。
- ・文化財の価値をわかりやすく市民にPRし、保存とともに実際に見たり触れたりできるようにする。
- ・ペラペラのパンフレットのような印刷物ではなく、少なくとも100ページをこえる雑誌形態の本を市の文化誌として年4回(季刊)発行、その中で文化財のみならず色々なものを取りあげるべきです。
- ・やはりPRだとは思いますが、いわゆるケータイ、ファックス、パソコン等を使っていない年代もかなりいることを十分に知ってからにしてほしい。
- ・まず市民に、次に近隣市町村に、知らしめて行く。観光資源になるかもしれない。

**質問7：公民館や文化会館などの開放施設は、公平に使われていると思いますか？**

施設利用の公平感	
公平	35% (12件)
公平でない	47% (16件)
無回答、ほか	18% (6件)

**質問8：各施設に「利用者アンケート」用紙を置くべきだと思うのですが、いかがですか？**

施設利用者アンケート実施	
実施すべき	79% (27件)
実施しなくてよい	21% (7件)
無回答、ほか	なし